

科目名	国際関係論特別講義	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修	■選択
			国際学科	□必修	■選択
英文表記	Special lecture on international relations	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中		
ふりがな	さとう だいすけ	実務家教員 担当科目	○	修得単位	2 単位
担当者名	佐藤 大輔	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	本講義では、経済、安全保障、国際貢献（国際平和協力）のあり方などの日本の外交が抱える課題をテーマとします。				
到達目標	グローバル化が進む中で 我々の生活は国際社会の動向に日々影響を受けています。戦後の国際秩序は大きな変革期を迎え、対応を迫られています。大きな流れや基本的な構造が分かれば、理解もし、将来の見通しも立てやすくなります。この授業では、日本の外交が抱える課題について、基本的な構造を理解するとともに、各人がそれについて考え、自分の意見を持てるようになることが目標です。				
授業概要	<p>経済、安全保障、国際貢献など、国際社会の諸課題に、これまで世界／日本がどのように考え、対応してきたのか、自分の経験も交えながら、できるだけ身近なものとして具体例を交えながら説明します。我々が取り組んでいる課題には正解はありませんので、授業を通じ、皆で悩み、考えていければと思います。昨年度、皆さんが関心を持っていないながら十分取り上げられなかった課題については、グループワークの形で取り上げたいと思います。グループワークを通じて、課題を特定し、自分たちで提言を出し、それについて皆で議論できればとても面白いのではないかと考えています。</p>				
授業計画					
第1回	イントロダクション（講義の概要）				
第2回	日本の現在地と日本の外交課題				
第3回	グループワーク準備				
第4回	自由貿易体制の維持と発展1（自由貿易のメリット・WTO体制）				
第5回	自由貿易体制の維持と発展2（経済連携協定の発展（TPP、IPEF））				
第6回	グループワーク1				
第7回	日本の安全保障と現在の課題1（戦後の安全保障環境と日米安保）				
第8回	日本の安全保障と現在の課題2（安全保障環境の変遷：サイバー、経済安全保障）				
第9回	グループワーク2				
第10回	国際貢献の在り方1（PKOの歴史と経緯）				
第11回	国際貢献の在り方2（地政学的競争の時代のPKO）				
第12回	グループワーク3				
第13回	グローバルガバナンスの行く末1（国際連合）				
第14回	グローバルガバナンスの行く末2（G7/G20）				
第15回	グループワーク4				
第16回	グループワーク5・まとめ				
授業時間外の学習	<p>グループワークでは、それぞれのグループが関心を持つ課題について、調べ、発表してもらいたいと考えていますので一定の準備が必要です（課題の特定や準備の方法については相談に応じます。）。期末レポートは、授業を踏まえて、自分が関心のある課題について自分だったらどのように考えるかを論述してもらうこととなりますので、一定の学習が必要です。国際ニュースをチェックし、自分だったらどう思うか考える習慣をつけるようにして下さい。</p>				
履修条件 受講のルール	<p>授業は月1回を目途に土曜日に行います。授業への参加を重視しますので、日程の調整をお願いします。国際関係論を受講していることが望ましいですが、受講してなくても問題ありません。</p>				

テキスト	適宜レジュメを配布します。
参考文献・資料	国際貿易法入門（関根豪政）、安全保障戦略（兼原信克）、サイバーグレートゲーム（土屋大洋）、米中奔流（ジェームズ・マン）、国際平和協力入門（上杉勇司、藤重博美）、パートナーシップ国際平和活動（篠田英朗）、国際連合その機能と役割（植木安弘） （授業中に追加で指示する可能性があります。）
成績評価の方法	【授業への参加度（40％）、グループワーク（30％）、レポート（30％）】 授業での質問や発言など授業への積極的な参加を高く評価します（40点）。グループワークと期末のレポートそれぞれ30点を予定しています。（但し、出席人数に応じて変わる可能性があります）
オフィスアワー	要望に応じ、授業がある週の土曜日に設けます。
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は、外務省で22年間勤務し、外交実務に携わってきました。その中で、シンガポールとアメリカ（直近ではトランプ政権下の2017～2020年）で累計7年間を海外で過ごしました。この授業を通じて、皆様には、現在の外交・国際関係を学ぶための基礎知識だけではなく、実際に行われている仕事の内容についても話したいと思います。その中で、国際関係は身近なものであり、海外で働くことの面白さも伝えたいと思います。
学生へのメッセージ	昨年度に引き続き、講義を担当させていただきます佐藤と申します。昨年度の講義では、皆さんの様々な意見を聞かせてもらい、とても勉強になりました。今年も、できる限り双方向でやりとりし、お互いに学びあえる授業にすることが目標です。皆さんの関心にもできる限り応えたいと考えています。この講義を通じ、国際関係が、日々様々な人が悩んだ結果によって成り立っているものであり、何より、面白いものであると感じてもらえれば、これ以上の幸せはありません。